

目白大学大学院国際交流研究科国際交流専攻

2019年度 入学試験問題（小論文）

（一般入試第Ⅱ期）

試験時間：10時00分～11時30分（90分）

注意事項

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 5問のうち2問を選択して解答してください。
3. 設問ごとに別の解答用紙を使ってください。
4. 解答用紙の所定の欄に、選択した設問の番号、受験番号、氏名、フリガナを記入してください。
5. 「メモ欄」は下書き等自由に使用してください。
6. 試験時間が終了するまで途中退出は認めません。

目白大学大学院

2018年12月8日（土）実施

小論文問題

以下の設問（１）～（５）の中から２問を選択し、それぞれに別の解答用紙を使って解答しなさい。なお、解答にあたっては、選択した問題番号を明記しなさい。

- （１）狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、我が国が目指すべき未来社会として、政府により“Society 5.0”が提唱されている。この新しい社会では、IoT（Internet of Things）、ロボット、人工知能（AI）などの先端技術の導入により、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの社会的課題が解決されるという。それではこうした技術革新によって具体的にどのような課題がどのような方法で解決されるであろうか。あなたの考え方を述べなさい。
- （２）インドの政治家であったマハトマ・ガンジー（Mohandas Karamchand Gandhi, 1869～1948 年）は、その著『わが非暴力の戦い』の中で「歴史上に記録されている世界で最も極悪で残酷な暴力は宗教の名の下に行われてきた」と述べている。この言葉の意味について論じなさい。
- （３）クライド・クラックホーン（C.Kluchohn, 1905～1960）によれば、全ての人間集団は、過去・現在・未来の「時」に関心を持つが、どの時を重視するかは国や民族の文化によって異なるという。あなたの国や民族はどの時を重視するか指摘し、そのことを示す事例を挙げてそれぞれ説明しなさい。
- （４）西洋から文物が入ってきたとき、従来のもものが「和～」「邦～」「日本～」などと再命名されることがしばしばある。例えば、洋食に対する「和食」、洋楽に対する「邦楽」、西洋人形に対する「日本人形」、コーヒーや紅茶に対する「日本茶」などである。これは日本文化が雑種型ではなく多種併存型であることの表れであるとする意見がある。この意見について論じなさい。
- （５）明治時代初期の啓蒙思想家、福澤諭吉（1835～1901 年）は、その著『西洋事情外編』の中で、博物館は人民の教育や開化のために必要で、政府はその設立を助けるべきである、と述べている。この考えは、現代日本の博物館にどのように活かされているかを論じなさい。

【メモ欄】